



 シラバス参照

タイトル「2020年度シラバス」、フォルダ「経済経営学類」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	問題探究セミナー I		
担当教員	尹 脚烈		
対象学年	1年,2年,3年,4年	クラス	経:I
講義室		開講学期	後期
曜日・時限	木3	単位区分	必修
授業形態	演習	単位数	2
備考			
特修プログラム		ナンバリング	g3310010
教育目標との関係 (DPポイント配分)	基盤教育 基盤教育	最新の専門知識及び技術 本質を見極めるための教養と学際性 協働的な問題探究 社会の改善につなげる創造性 市民としての主体的態度	20 % 20 % 30 % 20 % 10 %
授業方法	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実験 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> 発表 <input type="checkbox"/> ディスカッション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> ICT機器の活用		
授業概要とねらい	この科目は、学習集団の中での協働的な活動を通して、高校と大学の学び方の違いを理解するとともに(学びの質的転換)、大学という学習環境の活用方法や、アカデミック・ライティング、プレゼンテーション等の基本的・汎用的アカデミック・スキルズを身につけることを目的としています。		
単位認定基準	a.学習集団の中で協働的に課題に取り組むことができる。 b.設定されたテーマに関する文献を読み、要約することができる。 c.最低限の形式を守ったレジメやレポートを作成することができる。 d.設定されたテーマについて他者に伝えることができる。		
授業計画	1. 前期活動の振り返り、後期の活動計画の確定 2. 前期授業の復習:レポートとプレゼンテーションの作成について 3. 民間企業の公開資料の収集と分析練習 4. 公共機関の公開資料の収集と分析練習 5. 学術論文の収集と分析練習 6. 海外資料の収集方法と練習 7. 各自が収集した資料と分析結果の発表(民間企業) 8. 各自が収集した資料と分析結果の発表(公共機関) 9. 各自が収集した資料と分析結果の発表(個別産業) 10. レポート作成練習:各自のテーマと概要の発表 11. レポート作成練習:各自の研究テーマと全体構成の確定 12. レポート作成練習:資料収集に向けた活動 13. レポート作成練習:収集資料の加工と分析活動 14. レポート作成練習:レポートの完成とプレゼン資料の作成 15. 最終発表会		
教材・教科書	特に指定なし		
参考図書	各授業の内容に合わせて適切に紹介する。		
参考URL			
授業以外の学習	グループ活動のために、授業時間以外の資料収集及び資料作成を行う場合があります。		

成績評価の方法	以下の4点に基づいて、総合的に評価します。 a.グループワーク等への参加・貢献状況 b.レジュメの形式・内容 c.プレゼンテーションの形式・内容 d.レポートの形式・内容
成績評価の基準	成績評価基準点数の合計で、以下のように評価を決定する。 但し、1/3以上の欠席の場合は単位を取得することができません。 S:90点以上 A:80点～89点 B:70点～79点 C:60点～69点 F:59点未満
オフィスアワー	毎週火曜の午前中を設けています。 事前にメール等々で連絡してください。
授業改善・工夫	毎回の授業は、学生の意見を最大限受け入れて行います。
留意点・注意事項	
教員の実務経験の有無	

